



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム） （アメリカ、日系青少年招へい第2陣）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国より大学生、社会人 69 名および引率者 6 名が、2016 年 12 月 13 日～20 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。省庁講義、歴史的建造物視察、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を生かした、帰国後のアクションプラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

アメリカ 75 名

【訪問地】

東京都、神奈川県、三重県（グループ A／B）、群馬県（グループ C）

2. 日程

12 月 13 日（火） 成田国際空港より入国

12 月 14 日（水） 【オリエンテーション】

【講義】外務省北米局「日本の外交政策」

【歴史・文化】海外移住資料館

12 月 15 日（木）～12 月 18 日（日）

2 つのグループに分かれ、グループ A／B は三重県、グループ C は群馬県を訪問
地方プログラム終了後、12 月 19 日に東京へ移動

（1）グループ A／B：三重県

【学校交流】皇學館大學

【表敬訪問・地域概要講義】伊勢市役所

【歴史的建造物】賓日館

【視察】夫婦岩

【歴史的建造物】伊勢神宮

【視察】おかげ横丁

【ホームステイ】

【ワークショップ】

(2) グループC：群馬県

【表敬訪問・地域概要講義】富岡市役所

【伝統文化】抹茶体験

【歴史的建造物】富岡製糸場

【学校交流】高崎商科大学

【ホームステイ】

【ワークショップ】

12月19日（月） 【講義】日本アイ・ビー・エム株式会社

【報告会】

12月20日（火） 【講義】内閣府 男女共同参画推進室

【商業施設視察】お台場

成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

東京都



12/14【講義】外務省北米局「日本の外交政策」（東京都）



12/14【歴史・文化】海外移住資料館（東京都）



12/14【歴史・文化】海外移住資料館（東京都）



12/19【講義】日本アイ・ビー・エム株式会社（東京都）



12/19【報告会】（東京都）



12/19【報告会】（東京都）

地方プログラム グループA／B：三重県



12/15【学校交流】皇學館大學（伊勢市）



12/16【表敬訪問・地域概要講義】伊勢市役所（伊勢市）



12/16【歴史的建造物】賓日館（伊勢市）



12/16【歴史的建造物】伊勢神宮（伊勢市）



12/17【ホームステイ】（大紀町）



12/18【ホームステイ】歓送会

グループC：群馬県



12/15【表敬訪問・地域概要講義】富岡市役所（富岡市）



12/15【伝統文化】抹茶体験（富岡市）



12/15【歴史的建造物】富岡製糸場（富岡市）



12/16【学校交流】高崎商科大学(高崎市)



12/16【学校交流】だるま絵付け体験（高崎市）



12/17【ホームステイ】餅つき（みなかみ町）

4. 参加者の感想

◆ アメリカ 大学生

講義: 最も感銘を受けた講義は海外移住資料館で聞いた「日系」というアイデンティティについてでした。「日系」という言葉を聞いたのは初めてでした。自分について人から聞かれた時、自分のアイデンティティについてどう答えるかを考えさせられた内容でした。自分が何者であるか、自分の事をどう人に伝えるか、について何かが今までと変わりました。

学校交流: 皇學館大學での交流はとてもわくわくする体験でした。特に英語の授業に参加した時は、個人的に日本人学生と話すことが出来素晴らしい思い出になりました。又、(大学の) 神道博物館に行けたことも良い経験になりました。なぜなら私の祖母は神道なので、祖母がどう考え育ってきたかに触れることが出来たからです。

省庁関連: 外務省の講義のおかげで政治の大切さについて気が付くことが出来ました。私は理工系の専攻で、国際関係についての授業をあまり受ける機会がありませんでしたので、外務省の講義から多くの情報を学べただけでなく、私の目を世界に目を向けさせてくれた新鮮なものでした。

ホームステイ: ホームステイは、KAKEHASHI プログラムの中でも楽しみにしていた内容です。私が生活している(アメリカの)都市にはあまり日本人がいませんので、この体験により初めて日本の文化を学ぶことが出来ました。

◆ アメリカ 大学生

講義は有益で大変興味深いものでした。講義の内容が、自分が大学で専攻しているグローバル・スタディのクラスに関係していることは素晴らしかったと思います。過去を学び、理解することは現在を評価し、将来の展望のために大変価値のある大切なことです。

学校交流はプログラムの中でも一番楽しみにしていました。学生たちの英語は完璧ではなくても、親切で、一生懸命準備をしてコミュニケーションをはかってくれました。日本のおもてなしを学び直に体験できました。群馬のテレビ局の取材を受けて経験を話せたことも素晴らしい体験でした。

富岡市役所では、富岡製糸場の世界遺産登録による経済効果を学びました。プラス面、マイナス面があるということは印象的でした。富岡製糸場見学での説明では日本人が伝統と歴史を大切にしていることがわかりました。

ホームステイでは日常生活や、群馬での勤勉さを見ることができました。ご近所のつながりが強くお年寄りが多く、日本の高齢化社会をこの町で身近に感じました。また皆さん、とても温かくおもてなしにあふれていました。たくさん食べて、いつもおなかがいっぱいでした。日本人の生活を見て、実際に体験できたことがとても素晴らしかったです。

5. 受入れ側の感想

◆ 学校交流先大学生

今回、かけはしプロジェクトに参加してとても良い経験ができました。私は海外へ行ったことがないうえ、英語も授業の内容くらいにしか取り組んでいないので、コミュニケーションが取れるか心配でしたが、積極的に話かけてくれ、わかりづらいところは調べて日本語に変えたりしてくれたので、ディスカッションなどがスムーズに進みました。また、参加者の中にも日本語を勉強している人もいて、日本語で話しかけてくれたことによって、よりお互いが相手の言語を学ぶ機会になったと思います。だるまの絵付けでは楽しく工作することができてそれぞれに個性的なだるまを見ることができました。型にはまらないピカチューやカラフルなだるまがあって面白かったです。外国人とコミュニケーションをとることは難しかったけれど、とても楽しい一日になりました。

◆ ホームステイ（大紀町）

英語があまり得意ではありませんでしたが、手振り身振りである程度伝えることができました。近くのお寺で座禅や華道をしてもらいましたが、このプロジェクトを機会に地域の人々との連携する機会を得たことで、スムーズな受け入れができました。地域の人々も「これからも外国の人が来るなら地域で交流したい」と言ってくれました。長い間タンスに眠っていた着物を出してきていただきましたが、とても喜んでくれました。着物も喜んでいただいでしょう。私の店のスタッフの1歳の子どもが来たのでバースデーパーティーを開いたことも喜んでくれました。できれば、グループに日本語が話せる人を配置してもらえるとありがたいと思います。

◆ ホームステイ（みなかみ町）

4名とも個性は違うのに、何にでも真摯な姿勢が見えてよかったです。専攻の内容を聞いた際もこちらがきちんと理解するまで、丁寧に説明してくれたり、こちらの話しもメモを取りながら聞いてくれたりするなど、彼らの真摯な姿勢に非常に感銘を受けました。大変楽しく有意義な体験ができました。日系の方々への感心と関心を強く持ちました。日系の方々を受け入れる機会をもっと持ちたいと思います。

◆ ホームステイ（みなかみ町）

大人でしたので、ホストホストファミリーや仲間への気配りもあり、終始和やかで良い雰囲気でした。訪日団同士のコミュニケーションも図れていた様子です。食事の後片付けや食器洗いも積極的に2人ずつ交代できれいにしてくれ助かりました。とても上手でした。日程も余裕があり、温泉にもゆっくりつかり、リラックスできたようで良かったです。日本食も気に入ってくれて、「菜っ葉」という言葉を知っていることには驚きました。毎食残さずに食べてくれてうれしかったです。日本人より気配りのある人たちだと思いました。

6. 参加者の対外発信

 Ruthie Shimomura January 28 What a feast! Thanks, Melanie Nomiya! Like Comment	 Ruthie Shimomura with Mariko Daisey and 21 others. January 4 We met students from Kogakkan University, Ise City, Mie Prefecture to practice our Japanese & to teach some English!
素晴らしいごちそう！	三重県伊勢市の皇學館大学の学生と会って、日本語を学ぶと同時に、少し英語を教える機会を持ちました！

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

Be an Advocate • socialize our story with anecdotes when people ask about your trip • social media, blogs, conversation • promote Japanese culture in our JA organizations (or start one), become more involved • write letters to Congressmen supporting U.S. Japan relations • encourage participation in exchange programs to Japan	 PROMOTING THE JAPANESE BRAND • Growing Japanese brand value in U.S. • Promoting confidence in Japanese economy • Developing business relationships
ソーシャルメディアや日米協会でのイベントを通して日本での体験や気づきを共有する。また積極的に議会関係者や在米公館を巻き込む。	日本製商品の購入を通してブランド商品への信頼性をさらに広め、アメリカ国内での日本ブランドの価値を高めることで、今後のビジネス関係を発展させる。